

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成22年12月号

## カヤカキで継ぐ合掌集落

今年度守る会では、「カヤの自給率の向上」を目指した運動を行うこととしており、10月下旬に有志と借り受けたカヤ場のカヤカキ作業を行いました。しかし、時期的にはやや遅れ気味で一部のカヤは倒れ使い物にならないものもありました。収穫した小ガヤは100把で、カヤカキのタイミングなどカヤ場の維持管理も難しいものだ改めて感じたところです。また、集落の中の休耕地に自生した大ガヤも少し刈り取り、現地で乾燥のためカキ立てをしました。これも晩秋の風物として価値があるのではと考えています。耕作が困難であれば、手入れしてカヤを育て収穫していただければ景観的にも良くなります。

カヤカキの適期は、例年であればコガヤは10月中と言われており、オオガヤは雪が降るまでは収穫可能ですが、10月の下旬には標高の高い所のカヤは雪の被害を受けてしまいます。このようなことから白川ではカヤの収穫の期間は限られており、少ない人数で大面積のカヤ場を維持して行くことは困難です。先輩達がそれぞれに自家用のカヤ場を持って、カヤダノモシで融通しあいながら合掌造り家屋を維持してきたのは、こうした白川の気象条件とも関係があると思います。

より多くのカヤを確保するためには多くの人手が必要としますが、現在カヤカキを行っている方々は高齢化しています。このままでは地元のカヤが自給されなくなってしまう恐れもあり、そうなれば世界遺産の真正性を問われることにもなりかねません。

とは言っても専門で行える業ではないことから、その時々において少しでも手間のある方がカヤカキを繋いで行き、そのカヤを合掌造家屋の所有者に使ってもらい何がしかの収入とすることが出来れば、合掌家屋を所有していなくても世界遺産の維持に協力しているとともにその恩恵を受けられることにもなります。

これも地域ぐるみで集落の自然環境を守ろうとする取り組みであり、約40年前に制定された住民憲章の目的にかなうものだと思います。 【文責：板並】



【カヤカキを終えたカヤ場】



【カヤをカキ立てた晩秋の風景】

### 守る会の活動指針 (国際フォーラム白川郷宣言より)

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

## 荻町交流施設(旧国道の舗装)検討委員会開催・・・

12月6日の定例会に先立ち、見出しの委員会が飛騨農林事務所、役場関係者、荻町区長、同副区長、守る会委員の参加で開催されました。通算6回目の会合となります。会議の内容は、荻町交流施設(旧国道の舗装工事等)の概要説明や検討委員会の経緯の確認にはじまり、検討に際しては、舗装と側溝蓋が世界遺産の集落景観にあったものとする、今後の維持経費の負担の少ないものとする、工事に無駄がなく工期のわからないものに、といった観点から話し合いが行われました。検討内容は以下の通りです。

- ① 舗装は景観に配慮した洗い出しとし、石の質感が出る20mmの大きさの骨材を使用する。
- ② 排水性舗装は、冬タイヤによる摩耗が激しいことや維持管理費用が高価であることから適応しない。
- ③ 側溝蓋は景観に配慮した木材を表面にボルトで取り付けたものを使用。破損の際に木材部のみの交換が可能。荻町の一部に既に試験的に設置しているが、除雪作業への影響等を含め継続観察を行う。
- ④ 側溝蓋の設置方法については、工期と経費のわからない方向で継続検討し、次回に審議する。

工事は22年度中に詳細設計を終え、23年度から実施着工の予定となっています。なお、会議資料は各組委員がもっていますので希望の方はご覧ください。次回の検討委員会は2月の開催を予定していますので、ご意見ご要望がありましたら守る会役員・委員にお伝えください。【文責:和田】

## 荻町交通対策委員会開催・・・

12月7日夜、見出しの会が行われました。報告事項として、今年度の実施状況、観光車両の入り込み状況、各駐車場の稼働日数、5月2・3日に実施された「白川郷 IC 出口渋滞対策(駐車場への迂回路案内誘導実施結果)」の説明がありました。観光客及び観光車両の流入は、昨年一昨年の高速全通時に比べ落ち着きつつある点や、迂回誘導実験が渋滞緩和に効果があったこと、第3金土の交通対策が外部に周知されてきたことがわかりました。また、マスタープランの完成発表が近づく中、新聞紙上で「観光車両と世界遺産の景観に関わる問題」が提起されている点も話題にのぼりました。個々の営利に関わる難しい問題ではありますが、世界遺産の景観保全・住民の生活・観光振興それぞれの視点から、行政も住民も真摯に受け止め解決していかねばならない課題であると感じました。なお、来年度の交通対策は、今年同様4～11月の第3金土と荻町祭礼に関わる10月13～15日の計19日間の実施案が可決し大寄り合いにはかられることとなりました。【文責:和田】

## センガ岩倉庫冬期使用スタート・・・

センガ岩倉庫の冬期使用は、合計12名17台(12月6日現在)の利用となり、ほぼ全ての搬入が完了いたしました。多くの方々の活用と景観保全へのご理解・協力に感謝申し上げます。なお、使用料につきましては、期日までに振り込みをお願いいたします。使用料は今後の倉庫の維持管理に活用するものとし、世界遺産白川郷合掌保存基金にプールいたします。平成22年分(昨年冬期分11名24,400円と今年夏期分13名44,500円)の68,900円は、12月1日付けで基金への振り込みを済ませました。今後も倉庫が有効活用できるよう努めたいと考えていますので、要望等ありましたら一般環境部長今藤にお知らせください。【文責:今藤】

## = 11月の活動報告 =

- 11月 8日 11月定例会
- 11月 9日 世界遺産15周年記念事業打合せ(役員)
- 11月 10日 伝建制度35周年記念シンポジウム(東京)
- 11月 13日 ねそ11月号配付
- 11月 21日 白川八幡神社秋祭り・雪囲い作業
- 11月 23日 長野県青鬼伝建地区保存会来郷案内(会長)
- 11月 27日 旧寺口家雪囲い作業(合掌環境部他)

【※1月の定例会は20日(木)を予定しています。】

### = 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

### ☆11月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

\*\*\*\*\*・・・倉庫の屋根葺替

白川村・・・転落防止柵の設置(村道荻町下ゴリ線)

※守る会の審議結果が決定ではありません。決定権は教育委員会にあります。教育委員会の許可書が出される前に、絶対に施工は行わないでください。

